

○8番 龍山咲良君

行橋中学校2年、龍山咲良です。私は、SDGsの授業について質問します。

まず、SDGsとは、持続可能な開発のため、2030年までに達成すべき17の目標のことですが、私たち中学生の間に、あまり浸透していないように感じます。

ある研究データでは、中学生では、およそ10パーセント、小学生では10パーセント未満しかSDGsについて詳しく知らない、という結果が出ています。これから大人になり、社会を担っていく私たちがSDGsについての知識も関心も足りないという事実に危機感を覚えました。まず世界の様々な問題に目を向け、SDGsの必要性について学ぶことが大切だと思います。

そこで、SDGsについて学ぶ授業を増やすことを提案します。どのようにお考えでしょうか。

○議長 白橋陽那君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 長尾明美君

龍山議員の質問にお答えいたします。龍山議員からの御提案をいただいて、私もSDGs認知度等を調べてみました。ことし1月のある調査では、SDGsという言葉の認知率、86パーセントに達したんですけれども、やはり内容まで含めて知っている、これは34.2パーセント、多くはまだSDGs初心者と推測される結果だということを拝見いたしまして、私も龍山議員と同じように、少し焦りを感じております。

現在、市内の小・中学校においては、持続可能な開発目標を受けて、各教科の中でSDGsを意識した学習をしています。議員が言われるように、言葉や施策については知っていても、実際に児童生徒がそのことを意識して浸透しているかと問われると、やはりまだまだ不十分なところがあると感じています。

これからの将来を考えると、もっと学校でSDGsを意識した取り組みが必要ではないかというふうに考えています。以上です。

○議長 白橋陽那君

龍山議員。

○8番 龍山咲良君

また、SDGsをより身近に感じる具体的な活動などを知るために、授業の一環として、私たちにできる取り組みに参加することを提案します。

現在、行橋市の学校では、行われているSDGsに関する取り組みは、具体的にどのようなものがありますか。

○議長 白橋陽那君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 長尾明美君

行橋市ということで御質問がございましたけれども、いま学校において、こういったことをしているかということで回答をさせていただきたいと思います。

各学校におけるSDGsに関連した学習の一例として、例えば理科の授業で、エネルギーや気候変動について学んだり、保健の授業においては、医療の充実や健康づくりの大切さなどを学んでいるのではないかと思います。また、福祉の充実として、高齢者の方々のふれあいや福祉体験の学習等を取り入れて、座学だけでなく、実際の体験を通して学んでいるのではないかと思います。以上です。

○議長 白橋陽那君

龍山議員。

○8番 龍山咲良君

例えば、現在、中学校には自動販売機が設置されています。自動販売機で買える飲み物のキャップを860個集めると、子ども一人分のポリオワクチンを途上国に届けることができます。こうした取り組みを授業の中に取り入れ、続けることで、より一層SDGsについて理解を深めることができると思いますが、どのようにお考えでしょうか。

○議長 白橋陽那君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 長尾明美君

龍山議員の質問にお答えいたします。議員が言われたように、ペットボトルのキャップを回収する活動を行うことで、発展途上国にポリオワクチンが届けられるなど、医療提供が受けられない子どもたちを救うことができますよね。こういった活動の輪が広がってけば、SDGsの目標につながって行って、ひいてはSDGsの貢献にもつながっていくというふうに考えています。

まずは、やはり学校でもっとSDGsの意識を高めること、それを高めるためには、実際にやってみるということが必要だと考えますので、例えば学校って紙がすごく多いですよ、ですからペーパーレスについて取り組んでいただく、そういったことを、きょう校長先生、教頭先生も来ていますので、一緒に検討していきたいと思います。

そして、今回子ども議会を通じて、皆さんからいろんなアイデアをいただきましたので、今後より一層SDGsの理解を深めるためにも、やはり児童生徒がSDGsを意識して、自ら進んで行動できる、そういった活動も大切だと思いますので、その活動についても考えていきたいと思っています。

龍山議員、今回御提案いただいて、ありがとうございました。またアイデアがあれば、御提案していただきたいと思います。以上です。

○議長 白橋陽那君

龍山議員。

○8番 龍山咲良君

以上で質問を終わります。ありがとうございました。